

デジタル田園都市国家構想交付金 事業（地方創生推進タイプ、地方 創生拠点整備タイプ）の活用

令和7年（2025年）8月

熊 本 県

プロジェクト一覧（令和6年度実施分）

地方創生推進タイプ

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある <事業費ベース>

NO.	プロジェクト名	大分類	小分類	実績額(千円)
1	新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト	しごと	③	144,115
2	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト	しごと	①	48,898
3	若者の雇用促進による熊本への人の流れの創出プロジェクト	人の流れ	②	25,393
4	熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト	しごと	③	80,011
5	更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト	しごと	①	59,780
6	未来へつなげるくまもと農業の人財確保・育成プロジェクト	人の流れ	②	98,392
7	球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト	まちづくり	②	78,000
8	くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト	しごと	③	41,664
9	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	しごと	①	70,551
10	地域の農林水産業を元気に！くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト	しごと	①	87,070
11	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト	しごと	②	80,012
12	「グリーンエボリューション(緑の進化)」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト	しごと	①	106,650
13	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト	しごと	③	138,662
14	世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト	しごと	③	16,395
15	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト	人の流れ	②	123,505
16	くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト	しごと	③	48,264
17	国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト	しごと	②	116,619
18	スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業	まちづくり	②	50,994
19	熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト	しごと	①	108,145
20	地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト	しごと	②	54,978
21	シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト	人の流れ	②	126,924
22	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	プロフェッショナル人材型		53,404
23	万博開催を契機としたインバウンド促進と人材育成及び関係・交流人口創出による地域活性化プロジェクト	しごと	②	127,994
24	半導体産業と農業の共存共栄！くまもとの産業持続化環境整備プロジェクト	しごと	①	117,096
25	若者の定着・関係人口創出プロジェクト	人の流れ	②	59,907
26	五木村の「宝＝森林資源」をフル活用した”ひかり輝く”新しい五木村の実現！グリーン成長加速化総合対策プロジェクト	まちづくり	②	40,363
27	くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業	移住・起業・就業型		133,754
合計				2,237,543

○プロジェクト分類

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある <事業費ベース>

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 (千円)
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	7	598,190
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	4	379,603
	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	6	469,111
地方への人の流れ	① 生涯活躍のまち分野	0	0
	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	5	434,121
まちづくり	① 小さな拠点分野	0	0
	② (①を除く)コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、連携中枢都市等のまちづくり分野	3	169,357
プロフェッショナル人材型	—	1	53,404
移住・起業・就業型	—	1	133,754
合計		27	2,237,543

○K P I（重要業績評価指標）の達成状況

<令和6年度におけるKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中
27	92	47	8	6	16	15

No.1【新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト】

事業計画期間	R2～R6年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	144,115千円（72,057千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的（効果）	従来の取組みとは異なる、新たな視点により、交流人口の拡大や健康づくりの取組み等をモデル的に実施するとともに、持続可能な地域の実現に向けた基盤づくりを行う。地域自らが主体となって継続的に取組みを行う体制を整え、地域の取組みが自走化することで、地方創生の実現につなげる。		
事業概要・ 主な経費	○持続可能な交流人口の拡大 ・マンガ・アニメ等のコンテンツを活用した誘客促進（委託料） 47,690千円 ○持続可能な地域の担い手確保に向けた健康づくり ・企業における健康イベント等の実施支援等（委託料） 9,689千円 ○持続可能な地域の実現に向けた基盤づくり ・プロデューサー人材を活用した地域団体の育成（委託料） 24,002千円   健康イベント プロデューサー人材派遣		
KPI達成状況 (R6年度)	①県又はスポーツコミッションが開催・支援するスポーツ大会の参加者数及び観戦者数とアニメコンテンツに係るイベント・ツアーの参加者数 目標値：+1,000人 ⇒ 実績値：+1,465人（目標値を達成） ②職場ぐるみで健康づくりに取り組む企業・団体数 目標値：+100団体 ⇒ 実績値：+72団体（目標値の7割以上を達成） ③地域課題解決プロデューサー人材の活用件数 目標値：+6件 ⇒ 実績値：+6件（目標値を達成）		

No.2【成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト】

事業計画期間	R2～R6年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	48,898千円 (24,449千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	林業における省力化並びに生産性向上を図るためには、新たな技術の導入や普及が不可欠であることから、新技術を現場に実装し検証を行うとともに、新技術に触れる機会を創出することを通じて導入・普及を図る。また、森林整備の担い手確保対策の一環として、建設業など異業種との連携を後押しし、多様な林業担い手を確保する。さらに、国内外の需要拡大に向けて、地域住宅生産者グループの育成や輸出促進活動を実施する。		
事業概要・ 主な経費	○林業イノベーション現場実装推進事業 ・新技術等導入に対する補助 (補助金) 18,059千円 ○くまもとの木材グローバルセールス支援 ・品質の高い製材品輸出可能性調査 (委託料) 3,212千円 ○原木しいたけ生産DX実証 ・生産現場のデータ収集・解析や生産管理を行うためのシステム開発支援 (委託料) 16,510千円		
KPI達成状況 (R6年度)	①事業を通じた県内からの木材 (製材品) 輸出額の増加 目標値: +27,000千円 ⇒ 実績値: 集計中 ②事業を通じた林業分野における新技術の普及率 (新技術を導入した事業体数/熊本県内の認定事業体数) の増加 目標値: +8% ⇒ 実績値: +11% (目標値を達成) ③事業を通じた建設業等異業種との連携会社数の増加 目標値: +2社 ⇒ 実績値: +1社 (目標値の5割以上を達成)		



林業イノベーション現場実装推進事業 (イメージ)

No.3【若者の雇用促進による熊本への人の流れの創出プロジェクト】

事業計画期間	R2～R6年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	25,393千円（12,697千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野
目的（効果）	プロフェッショナル人材とのマッチングによる県内企業の魅力向上、県内外の若者及び県内の保護者に向けた県内企業の理解や県内で働くことの魅力等を知る機会の創出に取り組み、進学や就職時に県外へ流出した地方創生人材のUIターン就職による還流促進や県内就職率の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費	○建設産業働き方改革・人材育成支援事業 ・企業の働き方改革や多様な人材確保・育成の取組みへの補助等（補助金等）2,077千円 ○「建設産業の力」発信事業 ・SNS等を活用した建設関連広報等（委託料等）6,138千円 ○土木及び土木技術職の魅力発信事業 ・魅力発信動画編集等のコンテンツ制作及びPR等（委託料）1,692千円 ○専門高校インターンシップ等充実事業 ・地域と連携した課題研究等の支援（賃借料等）4,421千円		 「建設産業の力」発信事業
KPI達成状況 (R6年度)	①熊本県UIターン就職支援センターを活用して熊本県内に就職した人数 目標値：+100人 ⇒ 実績値：+104人（目標値を達成） ②地域企業に対する副業・兼業も含めた人材マッチング件数 目標値：+35件 ⇒ 実績値：+75件（目標値を達成） ③事業を通じた専門高校生の県内就職率の増加 目標値：+1.3% ⇒ 実績値：+3.0%（目標値を達成）		

No.4【熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト】

事業計画期間	R2～R6年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	80,011千円（40,006千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的（効果）	県内企業の先端技術(= IoT、AI、ロボット等を中心とした第4次産業革命技術)導入を支援することで、生産性の向上による産業界の人手不足解消や、収益性の向上による経済的波及効果の創出による地域経済の活性化を実現する。		
事業概要・ 主な経費	○経営者向け周知とデジタル技術導入計画策定支援 ・県内中小企業におけるデジタル技術の普及啓発等（委託料）5,098千円 ○製造業等・ITベンダーが連携した地域経済牽引事業への重点的な支援 ・モデルケースとなりうる先進性の高い取組みへの補助（補助金）40,000千円		 デジタル技術導入計画策定支援
KPI達成状況 (R6年度)	①地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 目標値：+15,000千円 ⇒ 実績値：集計中 ②IoT、AI等の先端技術を活用した県内企業の新たな取組件数 目標値：+24件 ⇒ 実績値：+25件（目標値を達成） ③県内企業と県外企業を繋ぐITプラットフォームの登録企業数 目標値：+20社 ⇒ 実績値：+3社（目標値の達成は5割未満）		

No.5【更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト】

事業計画期間	R2～R6年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	59,780千円 (29,890千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	前身事業で開発した商品を更にグレードアップさせて新たな市場開拓につなげたり、これまで支援してきた地域とは別の地域や視点で実施する、新規性や地域経済への波及効果の高い取組みについて支援を行うことで、本県の強みである「農業」を軸として、熊本の創造的復興と地方創生を加速する。		
事業概要・ 主な経費	○地域経済牽引事業者への支援 ・新たな熊本ブランド商品開発に伴う設備整備等を支援 (補助金) 47,010千円 ○農林水産加工事業者への総合的な支援 専門家によるセミナー開催、アドバイザー派遣等 (委託料等) 12,770千円		 専門家によるセミナー 農畜産物を活用した商品
KPI達成状況 (R6年度)	①事業実施による支援事業者の新規雇用者数 目標値：+30人 ⇒ 実績値：+36人 (目標値を達成) ②事業実施による観光拠点への来客数 目標値：+900,000人 ⇒ 実績値：+282,337人 (目標値の達成は5割未満) ③地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計額の増加額 目標値：+1,400,000千円 ⇒ 実績値：213,423千円 (目標値の達成は5割未満)		

No.6【未来へつなげるくもと農業の人財確保・育成プロジェクト】

事業計画期間	R2～R6年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	98,392千円 (49,196千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野
目的 (効果)	本県の強みである農業の持続的、安定的な発展のため、くもと農業を担う人財の確保・育成を図るとともに、熊本への人の流れを加速化させることで「競争力のあるくもと農業」の実現を目指す。その実現に向け、円滑な経営継承の支援体制構築や、就農を目指す者のすそ野拡大など、将来にわたって新規就農者（人財）を安定的に確保する取組みを推進する。		
事業概要・ 主な経費	○くもと農業経営継承センターを活用した就農支援 ・就農希望者と離農予定者のマッチング等（委託料）24,084千円 ○研修生の受入体制の充実と就農定着支援 ・受入農家等の資質向上の研修会や情報交換のためのネットワークの構築など（補助金等）36,284千円 ○選ばれるくもと農業の推進 ・中学生・保護者・教師等を対象とした啓発活動（委託料等）2,382千円		 新規就農相談の様子
KPI達成状況 (R6年度)	①事業を通じた新規就農者数 目標値：+130人 ⇒ 実績値：+89人（目標値の7割以上を達成） ②事業を通じた経営継承マッチング締結件数 目標値：+25件 ⇒ 実績値：+2件（目標値の達成は5割未満） ③県新規就農支援センターの就農相談延べ件数 目標値：+45件 ⇒ 実績値：+0件（目標値の達成は5割未満）		

No.7【球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	78,000千円 (39,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、連携 中枢都市等のまちづくり分野
目的 (効果)	令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域等について、醸造食品産業の生産性向上やブランド再構築による地域産業の活性化、豊かな自然、文化等の地域資源を活用した観光振興等による交流人口の拡大、防災・治水対策等の専門教育の充実による人材の育成、災害弱者の避難支援体制の構築や豪雨災害の記録の収集・発信による地域防災力の強化に一体的に取り組み、創造的復興を強力に推進し、持続可能な地域の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備 ・微生物の分離収集・解析・保管等の実施 (需用費、使用料) 11,265千円 ○球磨焼酎のリブランディング ・蔵ツーリズムによる誘客促進 (補助金) 15,318千円 ○森林資源活用による森林サービス産業の創出 ・森林サービス産業創出に向けたプラン作成、実証等 (補助金、事務費) 6,525千円 ○豪雨災害の経験を生かした防災対策 ・豪雨災害記録の収集・発信 (委託料・事務費) 10,531千円		 微生物の分離 優良菌株選抜 新商品開発支援 醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備
KPI達成状況 (R6年度)	①球磨焼酎の出荷量 目標値：+3,582kl ⇒ 実績値：▲5kl (目標値の達成は5割未満) ②人吉・球磨地域の延べ入込客数 目標値：+728,500人 ⇒ 実績値：集計中 ③外部人材(高度な測量技術者、宮大工等)と連携した教育活動の実施数 目標値：+12回 ⇒ 実績値：+12回 (目標値を達成) ④アーカイブ化のための資料収集件数 目標値：+2.0万件 ⇒ 実績値：+0.9万件 (目標値の達成は5割未満)		

No.8【くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	41,664千円 (20,832千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的 (効果)	県内企業を中心とした産学官連携によるオープンイノベーションの促進を図ることで、ウイズ・アフターコロナ時代の新たな社会環境にも対応したビジネスや本県の「強みとなる産業」の創出につなげ、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○オープンイノベーションに必要な連携体の構築等の支援 ・県内企業と大学が有する技術シーズなどから将来有望なテーマの掘り起こしや支援の実施 (委託料) 15,286千円 ○製品・技術開発への支援 ・新たな製品や技術の開発を支援 (補助金) 26,297千円		 半導体サプライチェーン強化 合同研究会
KPI達成状況 (R6年度)	①プロジェクトにおける共同研究等の件数 目標値：+4件 ⇒ 実績値：+3件 (目標値の7割以上を達成) ②戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業) 等の採択件数 目標値：+3件 ⇒ 実績値：集計中 ③プロジェクトにより課題解決につながった件数 目標値：+75件 ⇒ 実績値：+75件 (目標値を達成)		

No.9【SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による 阿蘇地域の持続的発展プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R6事業費 (カッコ内は交付金充当額)	70,551千円 (35,275千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	これまで進めてきた草原の保全・維持の取組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○持続可能な草原維持システムの構築 新たな担い手の掘り起こしや活動支援等 (委託料、補助金) 4,303千円 ○放牧草地の生産性維持・担い手確保の促進 ・牛を安全に放牧するための放牧条件整備及び放牧牛導入支援 (補助金) 17,219千円 ○世界文化遺産登録に向けた理解醸成・磨き上げ ・「阿蘇」の世界文化遺産としての価値の整理に向けた学術検討や海外の類似資産との比較分析 (委託料、一般需用費) 11,519千円		 
KPI達成状況 (R6年度)	①草原再生面積 (野焼き放棄地における再開地面積及び未利用牧野における放牧再開面積) 目標値：+205ha ⇒ 実績値：+36ha (目標値の達成は5割未満) ②阿蘇草原応援企業サポーター認証企業数 目標値：+15社 ⇒ 実績値：+6社 (目標値の達成は5割未満) ③草資源を活用した農産品に係る“食の体験”イベント参加者数 目標値：+830人 ⇒ 実績値：+835人 (目標値を達成) ④阿蘇地域が「世界文化遺産登録」を目指していることについての地元住民等の認知度 目標値：+10.0% ⇒ 実績値：+11.0% (目標値を達成)		

No.10【地域の農林水産業を元気に!くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト】

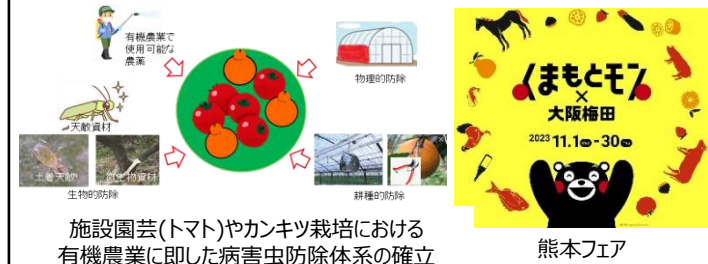
事業計画期間	R3～R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内は交付金充当額)	87,070千円 (43,535千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	豪雨で被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化推進のため、地域経済を牽引する「人材づくりと体制づくり」を推進するとともに、地域農産物を活用する地域事業者が行う「売れるモノづくり」や「強靱な販路づくり」を支援することで、県南を支える農林水産業の持続的発展を図る。		
事業概要・ 主な経費	○県南フードバレーを支える人材づくりと地域を牽引する体制づくり ・若手経営者や経営者への講座（経営塾）の実施や受講者を中心とした新ビジネス創出支援（負担金）5,493千円 ○地域経済牽引事業者への重点的な支援 ・海外展開やインターネット通販強化等の多角化を目的とした施設整備や設備投資等に要する経費の支援（補助金）37,177千円		 人材育成（経営塾）  施設整備(無洗米装置及び少量計量包装機)
KPI達成状況 (R6年度)	①当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い促進区域内事業者の売上合計額の増加額 目標値：+547,200千円 ⇒ 実績値：+1,579,295千円（目標値を達成） ②地域経済牽引事業者及び地域事業者による新規取引（契約）件数 目標値：+40件 ⇒ 実績値：+133件（目標値を達成） ③地域経済牽引事業者及び地域事業者による海外企業との新規取引（契約）件数 目標値：+4件 ⇒ 実績値：+2件（目標値の5割以上を達成）		

No.11 【くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト】

事業計画期間	R3～R7年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	80,012千円 (40,006千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光振興 (DMO) 等の観光分野
目的 (効果)	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	○デジタル技術を活用した観光マーケティング手法の確立 ・コンテンツ制作、デジタルプロモーションの実施・分析等 (負担金) 28,620千円 ○スマート観光交通体系構築推進事業 ・観光と交通の構築・改善に必要なデータの整備・収集等 (負担金) 20,957千円 ○地域の活性化を牽引する観光拠点づくり ・宿泊施設、観光施設及び観光消費拡大につながる特産品製造施設等の整備への補助 (補助金) 9,875千円		 事業イメージ
KPI達成状況 (R6年度)	①観光客への現地調査における、本県観光プロモーションコンテンツによる本県観光客への上乗せ数 目標値：+98,400人 ⇒ 実績値：+156,634人 (目標値を達成) ②新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設における地域在住者雇用者数 目標値：+6人 ⇒ 実績値：+3人 (目標値の5割以上を達成) ③新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設をめぐる旅行商品プログラムの造成数 目標値：+7本 ⇒ 実績値：+5本 (目標値の7割以上を達成)		

No.12【「グリーンエボリューション（緑の進化）」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	106,650千円（53,325千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的（効果）	「環境にやさしい農業の高度化」と「稼げる農業」の両立により、持続可能な農林水産業への進化「グリーンエボリューション」を実現し、食料の安全保障を強化するとともに、地産地消による消費意欲の向上と新たな販路開拓等による競争力の強化により、地域における経済の自立的好循環を促し、SDGsの理念に沿った魅力的で持続可能な地域づくりを行うことで、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○有機農業技術の確立と地域環境づくり ・病害虫防除技術の実証等（委託料等）12,136千円 ○地産地消やSDGsに対する機運醸成と消費意欲の向上 ・地産地消推進基盤の強化等（委託料等）19,324千円 ○商品の磨き上げとマーケティング力の向上 ・テストマーケティングの実施等に対する補助（補助金）10,000千円 ○首都圏等への販路拡大 ・首都圏百貨店と連携した熊本フェア開催等（委託料等）31,422千円		
KPI達成状況 (R6年度)	①有機農業に取り組む農業者数 目標値：+27人 ⇒ 実績値：+37人（目標値を達成） ②県地産地消ホームページの閲覧数 目標値：+3,000PV ⇒ 実績値：+8,500PV（目標値を達成） ③伴走型支援を行った中小企業者のうち、支援を実施する前年度から、経常利益から年率1%以上向上した中小企業者数 目標値：+32社 ⇒ 実績値：集計中		



No.13【産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	138,662千円（69,331千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的（効果）	阿蘇くまもと空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野（医療、健康、農業等）を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」を推進する。併せて、空港における国際航空貨物輸送の実現に向けた取組みや2023年春の新ターミナルビル供用開始に向けたPR等を展開し、空港の機能強化や周辺地域の拠点性向上、さらには将来にわたる本県の持続的な成長につなげる。		
事業概要・ 主な経費	○UXプロジェクトの推進 - 各種イベントの開催、人材育成プラットフォームの構築（委託料）、テクノロジーパーク内の先行的な交流拠点施設の管理運営（委託料及び賃借料）等135,217千円 - イノベーションハブの整備（ハード事業）3,445千円		 The image shows the 'UX Project' logo on the left, which includes the text 'UX Project' and '熊本の未来を創る' (Creating the future of Kumamoto). To the right is a diagram titled '「UX」に込めた思い' (Thoughts put into 'UX') with a flowchart showing the relationship between 'YOU' (local people), 'ME' (people and technology), and 'WE' (local industry). Below the diagram is a group photo of project members posing in front of a building.
KPI達成状況 (R6年度)	①UXプロジェクトの取組みに係る企業等のマッチング・協業件数 目標値：+7件 ⇒ 実績値：+8件（目標値を達成） ②UXプロジェクトの取組みに係る企業・団体等の参画数 目標値：+100者 ⇒ 実績値：+75者（目標値の7割以上を達成） ③阿蘇くまもと空港の利用者数 目標値：+117万人 ⇒ 実績値：+35万人（目標値の達成は5割未満）		

No.14【世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	16,395千円 (8,198千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的 (効果)	県内における自然共生型産業の売上額等を更に拡大するとともに、海外への積極的な販路開拓・拡大など新たな事業展開を図るため、「新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援」、「デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援」、「輸出障壁への対応に係る支援」の3つの柱で、本県におけるイノベーションを活性化するエコシステムの形成を推進し、地域経済を活性化させることで、地方創生を深化させる。		
事業概要・ 主な経費	○新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援 ・県内企業と県内外の外部機関との協業による新たなビジネス支援の支援事業を実施 (委託料) 1,635千円 ○輸出先進モデル育成支援 ・輸出規制対策や新市場開拓等の先駆的取組に挑戦する個別事業者への支援 (補助金) 6,065千円 ○デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援 ・地域の事業者への高い経済波及効果が見込まれる事業に対する支援 (補助金) 8,695千円		 商談会の様子
KPI達成状況 (R6年度)	①地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 目標値：+121,800千円 ⇒ 実績値：集計中 ②オープンイノベーションプログラムによる県内企業と外部機関との協業数 目標値：+3件 ⇒ 実績値：+1件 (目標値の達成は5割未満) ③規制市場へのチャレンジによる県内事業者と海外市場との新規取引件数 目標値：+9件 ⇒ 実績値：+7件 (目標値の7割以上を達成)		

No.15 【「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	123,505千円（61,753千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野
目的（効果）	熊本地震、令和2年7月豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ中小企業者の事業継続と発展を推進することにより、企業の魅力向上を図るとともに、県内の優秀な若者の育成・地元定着、外国人受け入れのための環境整備による人材確保を図り、県全体の経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○専門家を活用した中小企業者の経営強化、中小企業者・中小企業協同組合のデジタル化の推進（委託料、補助金）88,889千円 ○複数の高校が連携した学科間・地域間連携プロジェクトや県立高校の情報や取り組みについてのPRを実施（使用料、委託料、事務費）25,749千円 ○受入事業者向けのやさしい日本語教室等の開催や外国人材へ熊本で働く魅力を伝える情報発信の実施（委託料、事務費）8,867千円		
KPI達成状況 (R6年度)	①事業を活用した事業者のうち、前年と比較して財務状況が好転した事業者数 目標値：+192社 ⇒ 実績値：集計中 ②DX（デジタル化）のために専門家を活用（派遣）した事業者数 目標値：+750社 ⇒ 実績値：+2,110社（目標値を達成） ③県立高校の連携先企業等の数 目標値：+8者 ⇒ 実績値：+12者（目標値を達成） ④外国人雇用事業者数 目標値：+90社 ⇒ 実績値：+404社（目標値を達成）		



デジタル相談窓口
ポスター



やさしい日本語教室
開催風景



外国人材向け
パンフレット



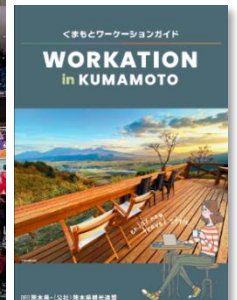
中学生向け
パンフレット

No.16【くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト】

事業計画期間	R4～R8年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	48,264千円 (24,132千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野
目的 (効果)	DX (デジタルトランスフォーメーション) を熊本の将来の発展につなげるため、産学官が連携してDXを推進する共通の羅針盤となる「くまもとDXグランドデザイン」を令和3年度に策定。このグランドデザインに基づく取組みの裾野を広げるため、推進体制を整備し、取組事例を蓄積・横展開することで、県内におけるDXの機運醸成に取り組む。		
事業概要・ 主な経費	○DX推進に係るコンソーシアムの運営 ・コンソーシアムの運営 (オープンイベント、商談会等マッチング支援に係る取組み等) (委託料) 29,334千円 ○DX人材育成 ・社会人を対象とした実践型の研修 (委託料) 6,000千円 ○農作業の効率化の実証 ・荷受け予約を行うアプリの実証等 (委託料等) 1,116千円		 DXセミナー  花き管理DX推進事業
KPI達成状況 (R6年度)	①DXグランドデザインに基づく取組みプロジェクトの数 目標値: +17件 ⇒ 実績値: +17件 (目標値を達成) ②コンソーシアム参加団体数 目標値: +50団体 ⇒ 実績値: +127団体 (目標値を達成) ③イチゴ「ゆうべに」の作付面積 目標値: +5.0ha ⇒ 実績値: +4.2ha (目標値の7割以上を達成) ④実証経営体におけるデコポンの出荷率 目標値: +5.0% ⇒ 実績値: +6.0% (目標値を達成)		

No.17【国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト】

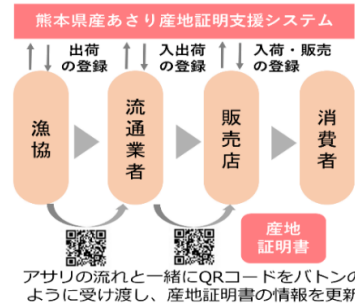
事業計画期間	R4～R8年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	116,619千円（58,310千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	観光振興（DMO）等の観光分野
目的（効果）	2019年の大規模国際スポーツ大会のレガシーを引き継ぎ、更に積み重ねることで、交流人口拡大と地域活性化を図るため、本県が強みを持つバドミントンの国際大会の定期的な開催を目指す。さらに、社会の変容に応じたワーケーション等の新たな観光スタイルに対応し、県内周遊促進や新たな交流・関係人口の創出を図ることで、国際スポーツ大会を起爆剤とした持続的な経済効果を生み出す。		
事業概要・ 主な経費	○国際スポーツ大会の開催 ・国内外の選手・スタッフ及び観客等を円滑に受け入れるための大会運営の実施（負担金）95,000千円 ○新たな観光スタイル促進事業 ・専門的知見を有するアドバイザーの派遣及び地域と企業とのマッチング人材の育成（委託料等）3,146千円		
KPI達成状況 (R6年度)	①国際大会の観客数 目標値：+8,000人 ⇒ 実績値：+5,583人（目標値の5割以上を達成） ②熊本県ワーケーションネットワーク参画事業者等数 目標値：+20者 ⇒ 実績値：+20者（目標値を達成） ③滞在・交流プログラム利用者数 目標値：+70人 ⇒ 実績値：+22人（目標値の達成は5割未満）		



No.18【スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業】

事業計画期間	R2～R6年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	50,994千円（25,497千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、連携中枢都市等のまちづくり分野
目的（効果）	ラグビーやアーバンスポーツ、サイクルスポーツの普及振興、合宿誘致等のスポーツツーリズム、大会開催を推進することにより、交流人口の拡大や若者の定住促進、地域経済の活性化を図る。 (大分県との広域連携事業)		
事業概要・ 主な経費	○国際スポーツ大会の開催 ・アーバンスポーツの受入体制整備（負担金）28,994千円 ・ツール・ド・九州2024の開催（負担金）22,000千円		 ツール・ド・九州の開催
KPI達成状況 (R6年度)	①スポーツ合宿等受入人数 目標値：+7,100人 ⇒ 実績値：集計中 ②カルチャーツーリズム等参加者数 目標値：+50人 ⇒ 実績値：集計中 ③パラスポーツイベント参加者数 目標値：+50人 ⇒ 実績値：集計中 ④イベント参加者数 目標値：+4,000人 ⇒ 実績値：集計中		

No.19【熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト】

事業計画期間	R5～R9年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	108,145千円（54,073千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的（効果）	農林漁業者の所得向上のため、生産から販売までの各事業者の連携による付加価値創出等、フードバリューチェーンの最適化に取り組むとともに、生産性向上、生産コスト削減、販売ニーズに応じた安定供給等、持続可能な生産体制の構築に取り組む。また、国内での流通体系の確立、輸出に対応した商品づくりやプロモーション等販路拡大に取り組み、稼げる農林水産業の実現、ひいては「日本の食料安全保障の一翼を担うかもと」の実現と地域活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○フードバリューチェーン構築支援 ・選果場等における作業効率化のための人材育成、機能強化につながる機器の再配置・機材導入経費（補助金等）2,978千円 ○国内でのあさりの流通体系「熊本モデル」の確立や認知度向上 ・「熊本モデル」の整備・運用（負担金）14,026千円 ○輸出における販路拡大 ・事業者への中長期的な伴走型支援（委託料）3,900千円		 熊本県産あさり産地証明支援システム 出荷の登録 → 流通業者 → 入出荷の登録 → 販売店 → 入荷・販売の登録 → 消費者 漁協 → 流通業者 → 販売店 → 消費者 産地証明書 アサリの流れと一緒にQRコードをバトンのように受け渡し、産地証明書の情報を更新
KPI達成状況 (R6年度)	①フードバリューチェーンの課題解決につながった取組みの割合 目標値：+26.7% ⇒ 実績値：+29.8%（目標値を達成） ②熊本県産あさり販売協力店舗数 目標値：+600店舗 ⇒ 実績値：+650店舗（目標値を達成） ③輸出支援コンシェルジュによる事業者支援数 目標値：+8件 ⇒ 実績値：+10件（目標値を達成） ④ブリ人工種苗の試験生産を開始した種苗生産施設 目標値：+1件 ⇒ 実績値：+0件（目標値の達成は5割未満）		

No.20【地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト】

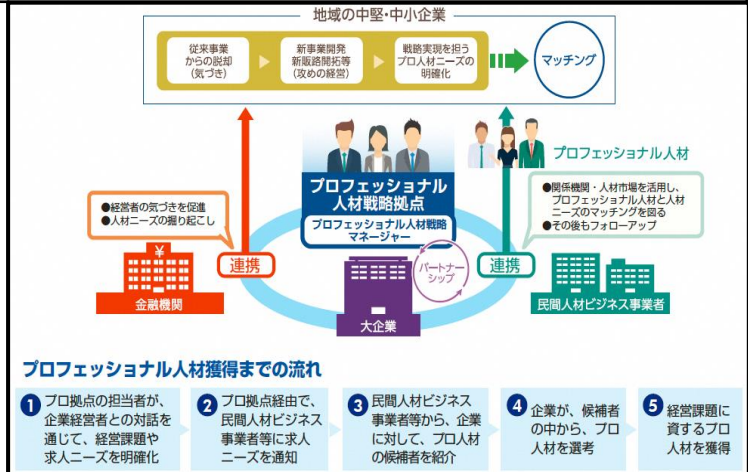
事業計画期間	R5～R9年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	54,978千円 (27,489千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光振興 (DMO) 等の観光分野
目的 (効果)	コロナや災害といった外的要因により、著しく活力が低下している地域資源のリブランディングに取り組むことで、本県ならではの価値を明確化させ、観光地としての基盤を固めるとともに、SDGsをテーマとした高質かつ新しい教育旅行の受入体制強化や、観光関連データの「見える化」によるDXの推進に、県と観光事業者、地元関係者等が丸となって取り組むことで、熊本の魅力・ブランド力を高め、熊本への誘客を推進する。併せて、水際対策の緩和によるインバウンドの再開に加え、半導体受託生産最大手であるTSMC (台湾) の熊本進出を受け、本県における最重要市場となった台湾との更なる交流促進と、台湾からのインバウンド誘客強化を通じた地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	○地域資源のリブランディング ・不知火海の魅力発信 (委託料) 19,000千円 ○台湾教育旅行受入体制構築事業 ・受入検討会、学校意識調査、マッチング対応等 (委託料) 8,470千円 ○台湾インバウンド誘客強化事業 ・マーケティング、情報発信、現地旅行会社セールス等 (委託料) 14,990千円		
KPI達成状況 (R6年度)	①熊本県の外国人延べ宿泊者数 目標値：+100,000人 ⇒ 実績値：+471,200人 (目標値を達成) ②熊本県の教育旅行宿泊者数 目標値：+10,000人 ⇒ 実績値：集計中 ③観光DMPを活用して立案・実行・結果集約・評価された観光関連施策の事業数 目標値：+20事業 ⇒ 実績値：+18事業 (目標値の7割以上を達成) ④不知火海の魅力発信動画のYouTubeの再生回数 目標値：+60,000回 ⇒ 実績値：+117,134回 (目標値を達成)		

No.21【シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト】

事業計画期間	R5～R9年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	126,924千円（63,462千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野
目的（効果）	台湾の世界的半導体メーカーであるTSMCの国内初となる新工場建設というビッグチャンスを生かし、半導体関連産業等の将来を担う人材の育成、新工場周辺地域の渋滞・交通アクセスの改善、ゼロカーボンの推進、国際的な教育環境の整備等に取り組むことで、県内への波及効果を最大化させるとともに、将来的にはシリコンアイランド九州の復活につなげ、半導体の安定供給を通して日本の経済安全保障に貢献する。		
事業概要・ 主な経費	○県立高校の半導体関連人材育成 ・学校が実施するキャリア教育に係る費用の支援等（委託料等）30,416千円 ○公共交通利用促進に係る取組み支援 ・公共交通の利用促進に取り組む企業等への支援（補助金）1,492千円 ○国際的な教育環境の整備 ・インターナショナルスクールの整備促進（補助金）85,358千円		 半導体関連人材育成 インターナショナルスクール
KPI達成状況 (R6年度)	①当事業の高校生向け教育プログラムへの延べ参加生徒数 目標値：+4,700人 ⇒ 実績値：+5,365人（目標値を達成） ②インターナショナルスクールの児童生徒数 目標値：+15人 ⇒ 実績値：+18人（目標値を達成） ③セミコンテックパーク周辺企業の公共交通通勤者数（1日あたり／年平均） 目標値：+200人 ⇒ 実績値：+371人（目標値を達成） ④当事業によってアグリゲーター事業を開始した事業者数 目標値：+0者 ⇒ 実績値：+0者（目標値を達成）		

No.22【プロフェッショナル人材戦略拠点事業】

事業計画期間	R5-R9年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	53,404千円 (28,802千円)
事業タイプ・類型	プロフェッショナル人材型	事業分野 (詳細)	—
目的 (効果)	「プロフェッショナル人材戦略拠点」を県内に設置し、地域企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起するとともに、副業・兼業を含めた企業が必要とするプロフェッショナル人材の獲得を支援する。		
事業概要・ 主な経費	○プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 (本体事業) ・「熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点」設置に係るマネージャー及びサブマネージャーの人件費、一般管理費等44,857千円 ○地域外副業・兼業人材活用促進事業 ・副業・兼業プロ人材の熊本までの移動費(交通費+宿泊費)の一部助成147千円 ○プロフェッショナル人材戦略拠点体制拡充事業 ・地域企業のデジタル化の推進や副業・兼業人材の活用促進、地域金融機関との連携強化を図るためのサブマネージャーの人件費8,400千円		
KPI達成状況 (R6年度)	①地域企業に対する人材マッチング件数 (副業・兼業を含む) 目標値：+35件 ⇒ 実績値：+75件 (目標値を達成) ②地域企業に対するデジタル人材マッチング件数 (KPI①の内数) 目標値：+7件 ⇒ 実績値：+7件 (目標値を達成) ③金融機関の紹介による地域企業に対する人材マッチング件数 (KPI①の内数) 目標値：+7件 ⇒ 実績値：+2件 (目標値の達成は5割未満)		



No.23【万博開催を契機としたインバウンド促進と人材育成及び関係・交流人口創出による地域活性化プロジェクト】

事業計画期間	R6年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	127,994千円（63,997千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	観光振興（DMO）等の観光分野
目的（効果）	万博開催を契機として、県南・阿蘇地域などの観光資源や「くまモン」を活かし、国内外からの誘客促進を図る。VR等の最先端技術を活かしたプロモーションによる、阿蘇草原の魅力発信と阿蘇草原を維持する若年層の担い手育成を図る。		
事業概要・ 主な経費	○万博を契機とした誘客強化に関する事業 ・ポータルサイトへの登録支援（委託料）9,998千円 ・マーケティング活動やプロモーション等（委託料）11,975千円 ○万博を活用した阿蘇の魅力の情報発信と人材育成 ・野焼きなどを疑似体験できるVR等の作成（委託料）49,373千円 ・「阿蘇」広報ツール作成（委託料）24,769千円 ○くまモンコンテンツを活用した地域活性化 ・ツアーの開発等（委託料）26,885千円 ○外部専門人材による広報コンサルティング ・プロモーションに係るコンサルティング経費（委託料）4,994千円		
KPI達成状況 (R6年度)	①熊本県内における一人当たり外国人旅行消費額 目標値：+2,542円 ⇒ 実績値：集計中 ②ボランティア数（公益財団法人阿蘇グリーンストックの野焼きボランティア登録者数） 目標値：+70人 ⇒ 実績値：+385人（目標値を達成） ③くまモン体験コンテンツ参加者 目標値：+11,270人 ⇒ 実績値：+6,855人（目標値の5割以上を達成）		

世界に誇る熊本の観光資源・文化



国宝青井阿蘇神社



阿蘇草原の野焼き



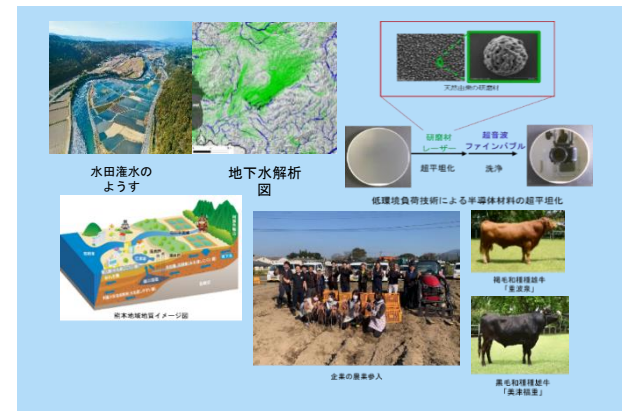
草千里ヶ浜



球磨川ラフティング

No.24【半導体産業と農業の共存共栄！くまとの産業持続化環境整備プロジェクト】

事業計画期間	R 6 ～ R 8 年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	117,096千円 (58,548千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的 (効果)	国家プロジェクトでもあるTSMC進出をはじめとした半導体産業の集積による経済発展と環境保全を両立できるよう、水資源の保全や環境負荷の低減に取り組むとともに、農地の確保・担い手の確保育成や畜産業の生産性の向上に取り組むことで、本県の基幹産業である農業の持続的発展につなげ、半導体産業と農業の共存共栄を目指し、県土の均衡ある発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○地下水保全等 ・地下水涵養拡充に向けた調査等 (委託料) 8,387千円 ○環境負荷の低い半導体製造装置の開発 ・低環境負荷型半導体製造装置の開発支援 (一般需用費) 2,018千円、(備品購入費) 8,063千円 ○地域の特徴を生かした稼げる農業の確立 ・貸借可能な農地の把握および情報共有の仕組みづくり (委託料) 19,800千円 ・優良な遺伝的資質を持つ種雄牛の作出及び高能力肉用牛・乳用牛の導入支援等 (補助金、委託費等) 54,567千円、(備品購入費) 10,960千円		
KPI達成状況 (R6年度)	①熊本県における農林水産出荷額 目標値：+415,669千円 ⇒ 実績値：+8,974,812千円 (目標値を達成) ②県有種雄牛の選抜頭数 目標値：+0頭 ⇒ 実績値：+0頭 (目標値を達成) ③プロジェクトにおける知的財産化件数 目標値：+2件 ⇒ 実績値：+2件 (目標値を達成) ④地下水の人工かん養量 (大津町及び菊陽町) 目標値：+60.00万m³ ⇒ 実績値：+200.00万m³ (目標値を達成)		



No.25【若者の定着・関係人口創出プロジェクト】

事業計画期間	R6～R8年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	59,907千円 (29,954千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野
目的 (効果)	本県の将来を担う高校生を中心とした若い世代を対象に、地域をフィールドとした課題解決学習や伝承芸能活動を通して地域への愛着を育み、若者の地元定着を図るとともに、県外在住者に対して本県の魅力を発信し、熊本ファンの獲得や地域活動参画へのマッチングを行い、関係人口の創出・拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費	○小中学校までの子どもへのアプローチによる地域への愛着形成 ・伝承芸能団体の地域間交流への支援、芸術家等による指導等 (会場使用料、謝金等) 1,555千円 ○関係人口創出事業 ・地域活動への参加希望者と地域をマッチングする仕組みの構築等 (委託料) 36,296千円 ○福岡県における関係人口強化事業 ・福岡県における県内市町村 P R イベントやマッチングイベントの開催等 (委託料) 22,056千円		 高校外と連携した授業の様子
KPI達成状況 (R6年度)	①地域へのUIターン数 目標値：+30人 ⇒ 実績値：+267人 (目標値を達成) ②子どもたちによる地域間交流団体数 目標値：+2団体 ⇒ 実績値：+6団体 (目標値を達成) ③マッチングシステムを活用して地域活動へ参画した人数 目標値：+30人 ⇒ 実績値：+48人 (目標値を達成)		

No.26【五木村の「宝＝森林資源」をフル活用した“ひかり輝く”新しい五木村の実現！グリーン成長加速化総合対策プロジェクト】

事業計画期間	R6～R8年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	40,363千円 (20,182千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	コンパクトシティ、町の賑わいの創出、連携中枢都市等のまちづくり
目的 (効果)	豊富な森林資源をフル活用し、適切な森林整備を実施しながら、林業の川上から川下までの森林資源の高付加価値化、林業担い手の確保・育成や所得向上等など林業施策を核とした取組みを推進する。さらに、五木村での取組みをモデルとして、林業関係者をはじめとした様々な関係者と連携を図りながら、県内の同様の課題を抱える地域に横展開・普及して五木村だけでなく他地域の地方創生にも繋げる。		
事業概要・ 主な経費	1 循環型林業の構築を通じた林業の活性化 22,826千円 ・共同管理など様々な森林管理手法の調査 ・低コスト造林技術の有効性等の実証調査 2 林業を支える「人財」の発掘・育成 17,537千円 ・「くまもと林業大学校」の機能強化や新技術導入促進・普及のための拠点整備の検討 ・林業DX人財育成のためDXアドバイザー派遣や研修会の開催等 1 循環型林業の構築を通じた林業の活性化  低コスト造林に繋がる機械等の新技術の活用  先進的な架線集材導入の促進 2 林業を支える「人財」の発掘・育成  自伐(型)林家の定住促進  林業DXの推進 		
KPI達成状況 (R6年度)	①熊本県における農林水産就労者数 目標値：+6人 ⇒ 実績値：+0人 (目標値の達成は5割未満) ②五木村の再造林率 目標値：+15% ⇒ 実績値：集計中 ③五木村の素材生産量 目標値：+2,098m ³ ⇒ 実績値：集計中 ④五木村の林業事業体におけるDX技術導入事業体数 目標値：+0者 ⇒ 実績値：+3者 (目標値を達成)		

No.27 【くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業】

事業計画期間	R6-R9年度	R6年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	133,754千円 (66,877千円)
事業タイプ・類型	移住・起業・就業型	事業分野 (詳細)	—
目的 (効果)	県内企業と就職希望者とのマッチングを図るマッチングサイトを整備し、県内企業に就職し、または社会的事業等の分野において起業した者に対して移住に必要な経費を支給するとともに、社会的事業等の分野において起業したものに対して起業に必要な経費を支給することで、地域における人材確保を確実なものとし、地域の活力の維持、発展につなげていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○移住支援事業 ・移住支援金、事務経費123,702千円 ○マッチング支援事業 ・求人広告作成支援に係る経費 (セミナー、アドバイザー派遣等) 3,000千円 ○起業支援事業 ・起業支援金、事務経費7,053千円 移住支援金の交付までの流れ ※3 市町村によっては、「就職して3か月以上」又は「移住(転入)して3か月以上」の要件を設定している場合もあります。		
KPI達成状況 (R6年度)	①本移住支援事業に基づく移住者数 目標値：+328人 ⇒ 実績値：+185人 (目標値の5割以上を達成) ②本移住支援事業に基づく起業者数 目標値：+3人 ⇒ 実績値：+3人 (目標値を達成) ③マッチングサイトに新たに掲載された求人数 目標値：+2,200件 ⇒ 実績値：+2,321件 (目標値を達成) ④本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数 目標値：+78世帯 ⇒ 実績値：+31世帯 (目標値の達成は5割未満)		

プロジェクト一覧（R3年度補正分）

地方創生拠点整備タイプ
(地方創生拠点整備交付金含)

＜事業費ベース＞

NO.	プロジェクト名	予算区分	大分類	小分類	R4実績額 (千円)
1	熊本地震の経験や教訓等を未来に語り継ぐ熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設整備プロジェクト	R3年度補正	しごと	② 観光振興(DMO)等の観光分野	916,796

○ K P I（重要業績評価指標）の達成状況

＜令和6年度におけるKPIの達成状況＞

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中
1	3	0	2	0	1	0

No.1【熊本地震の経験や教訓等を未来に語り継ぐ熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設整備プロジェクト】

事業計画期間	R3-R4年度	R4年度事業費 (カッコ内は交付金充当額)	916,796千円（458,398千円）
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野（詳細）	観光振興（DMO）等の観光分野
目的（効果）	熊本地震の経験や教訓等と熊本が誇る自然の豊かさや熊本地震から復旧・復興を遂げる姿を発信する熊本地震震災ミュージアム中核拠点「体験・展示施設」を整備することで、本県の交流・関係人口の拡大、ひいては移住定住の促進や地域産業の回復による地域活性化を通じた熊本地震からの創造的復興の推進を図り、本県の地方創生を深化させる。		
事業概要・ 主な経費	○熊本地震震災ミュージアム中核拠点体験・展示施設の整備事業 ・建築物本体工事667,445千円 ・電気設備工事58,300千円 ・機械設備、給排水工事64,738千円 ・屋外給水設備、屋外排水設備、浄化槽設備工事48,125千円	 熊本地震震災ミュージアムKIOKU	
KPI達成状況 (R6年度)	①体験・展示施設来場者数 目標値：+33,000人 ⇒ 実績値：+10,581人（目標値の達成は5割未満） ②中核拠点（旧東海大学阿蘇キャンパス）を教育旅行を目的で訪れる小中学校及び高校の学校数 目標値：+50校 ⇒ 実績値：+49校（目標値の7割以上を達成） ③体験・展示施設来場による観光消費額 目標値：+505百万円 ⇒ 実績値：+362百万円（目標値の7割以上を達成）		